

ダイアラップ®の特長

① 伸ばしやすく、破れにくいフィルムです。

優れた引張り特性により、伸ばしやすく、破れにくいフィルムです（手包装用）。

② 機械適性に優れています。

自動包装機に適したフィルム設計により、破れ、トレーの破損を極力抑えます（自動包装機用）。

③ 優れた防曇性を備えています。

水滴で曇りやすい生鮮食品の低温陳列において優れた防曇性を発揮します。

④ 法規制に適合しています。

食品衛生法に基づく包装容器の規格基準 = 昭和34年厚生省告示370号に適合しています。



用途別規格表

品番	手包装用			自動包装機用	
	精肉・鮮魚・青果・惣菜	出前用		精肉・鮮魚・惣菜	
	i-GSW®	ART	E	MS-I	MS-A
幅 (mm)	250	●	●	●	
	300	●	●	●	●
	350	●	●		●
	400	●	●		●
	450	●	●		●
500	●			●	●
長さ(m)	750	750	500	1000	1000
ケース入数	2本×2 ※500幅:2本	2本×2	2本×3	2本	2本

製品物質表

測定項目	温度	単位	ダイアラップ i-GSW®	ダイアラップ ART	ダイアラップ E	ダイアラップ MS-I	ダイアラップ MS-A	試験方法	
外観	ヘーズ	23℃	%	1.0	0.7	0.9	1.3	1.0	JIS K 7136 : 2000
	光沢度	23℃	%	145	150	145	135	140	自社法(JIS Z 8741:1997参考)
引張り 特性	50%モジュラス	23℃	N/cm ²	2600/650	2750/650	2400/600	1550/1000	2400/870	自社法
	100%モジュラス	23℃	N/cm ²	4200/800	4450/800	3800/750	2050/1400	3450/1100	
	150%モジュラス	23℃	N/cm ²	6250/950	6600/950	5600/850	2500/1750	4700/1300	
	引張り破断強度	23℃	N/cm ²	7200/2650	7150/2350	6800/2500	2900/2450	5000/2550	
	引張り破断伸度	23℃	%	170/610	160/570	180/630	200/250	160/400	
引裂強度	23℃	N/mm	35/60	40/65	35/75	45/55	190/70	自社法(JIS K 7128-2:1998参考)	
透湿度	25℃	g/m ² ・24hr	290	270	280	260	200	自社法(JIS Z 0208:1976参考)	
酸素透過率	23℃	ml/m ² ・s・Pa	2.35×10 ⁻¹⁰	2.37×10 ⁻¹⁰	2.26×10 ⁻¹⁰	2.17×10 ⁻¹⁰	1.53×10 ⁻¹⁰	自社法(JIS K 7126-2:2006参考)	
二酸化炭素透過率	23℃	ml/m ² ・s・Pa	6.93×10 ⁻¹⁰	9.16×10 ⁻¹⁰	7.48×10 ⁻¹⁰	7.33×10 ⁻¹⁰	4.80×10 ⁻¹⁰	JIS K 7126-1 : 2006	
防曇性	-	-	○	○	○	○	○	自社法	
容器リサイクル法の材質表示			PVC	PVC	PVC	PVC	PVC		

※上記物性値は測定値であり、保証値ではありません。



ご使用 及び 取扱い上の注意 ※食品包装以外には使用しないでください。

- ケガや事故の原因となりますので、食品包装用以外には使用しないでください。
- 熱線でラップを切ると、極微量の臭いが発生することがあります。長時間ラッピング作業をするときは室内の換気を行ってください。
- 高温の物品と接触するとラップがやぶれたり、とけて食品に混入するおそれがありますので、電子レンジ、オーブントースター等を用いた加熱調理には使用しないでください。
- 誤使用しますと、ケガをしたり危険が伴います。包帯がわりに使用したり、美容、理容のために体に巻いたりすると、体質によってはカブレたりすることがあります。ヒモの代用に使うと、ぶら下がったとき切れてケガをすることがあります。
- 可燃性のラップですので、ガスコンロ、ヒーター等の火気・高温の熱源に近づけないでください。
- 生のホタテ貝を直接ラップで包むと、異臭を放つことがありますので、直接ふれないように深めの容器に入れてご使用ください。
- 誤って口に入れたりしますと、窒息のおそれがありますので、お子さまの手のとどかないところに保管してください。
- ラップににおいが移ることがありますので、においの強いもの(カビ、石鹸、香料、農薬、防虫剤等)の近くには保管しないでください。
- 製品の落下によるケガをまねくおそれがありますので、内装フィルムをつかんで製品を取り出したり、結束バンドをつかんで製品の運搬をしないでください。
- 荷崩れ防止のために、ダンボールケースを多段積みするときは、荷崩れ防止策を講じてください。

三菱ケミカル株式会社

本 社	100-8251 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル	☎03-6748-7310(直通)
東 日 本 支 社	100-8251 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル	☎03-6748-7321(直通)
中 部 支 社	450-6419 名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビルヂング	☎052-565-3719(直通)
西 日 本 支 社	541-0044 大阪市中央区伏見町 4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル	☎06-6204-8505(直通)
西日本支社九州エリア	812-0026 福岡市博多区上川端町 12-20 ふくざん博多ビル	☎092-262-5276(直通)

<https://www.m-chemical.co.jp>

取扱店

資料請求NO.325010

文書NO.32511F11106

2021年1月20日改訂(CO)